

令和 6 年度下半期下水道事業 業務状況説明書

1 事業の概況

良好な下水道サービスを提供するため、昨年度に引き続き、下水道未普及地域の解消、老朽化した下水道管やポンプ場設備の更新、浸水対策の推進に取り組みました。

管渠建設事業では、2,277,450,052 円を投じ、下水道未普及地域に下水道管を新たに 6,567.33m 布設しました。また、災害時に指定避難所となる小学校等を対象に、災害用マンホールトイレを設置する工事を 8 箇所実施しました。さらに、横曽根第六排水区雨水管渠築造事業を始めとする浸水対策工事を実施しました。

管渠改良事業では、674,215,408 円を投じ、老朽化した下水道管の更新工事等を実施し、下水道管 769m を布設替しました。

ポンプ場建設改良事業では、575,574,000 円を投じ、寿町ポンプ場除塵機更新工事のほか、芝支所北地下ポンプ室ほか 13 カ所監視装置更新工事等を実施しました。

2 経理の状況（消費税及び地方消費税込み）

（1）収益的収支の状況

収益的収入における下水道使用料の決算額は 6,359,792,517 円で、予算現額 6,492,399,000 円に対し執行率 98.0%、他会計負担金は 1,948,863,689 円で、予算現額 1,979,211,000 円に対し執行率 98.5%となりました。

これらに、その他営業収益、長期前受金戻入、国庫補助金等を加えた収入総額は 11,266,631,366 円で、予算現額 11,422,207,000 円に対し執行率 98.6%となりました。

一方、収益的支出の決算額は 9,560,865,218 円で、予算現額 10,134,818,000 円に対し 94.3%の執行率となりました。主な内訳は、営業費用 8,971,450,166 円、企業債の支払利息 568,936,682 円、特別損失 4,903,068 円となっています。

以上の収支により、本年度の消費税及び地方消費税込みの利益は 1,705,766,148 円となりました。

（2）資本的収支の状況

資本的収入の主なものは企業債 2,800,000,000 円、他会計出資金 178,000,000 円で、このほか、他会計補助金、国庫補助金等を加えた決算額は 3,485,788,534 円となり、予算現額 5,410,090,000 円に対し 64.4%の執行率となりました。

一方、資本的支出の決算額は 7,496,799,599 円で、予算現額 9,002,752,000 円に対し 83.3%の執行率となりました。内訳は、建設改良費 3,884,574,586 円、企業債償還金 3,612,225,013 円となっています。

3 排水状況

本年度末日の水洗化人口は 511,358 人で、前年度に比べ 2,606 人 (0.5%) 増、水洗化世帯数は 262,683 世帯で、前年度に比べ 4,486 世帯 (1.7%) の増となっています。

年間総排水量は 52,522,658 m^3 で、前年度に比べて 2,049,028 m^3 (3.8%) の減となり、有収水量は 50,893,425 m^3 、有収率は 96.90%となっています。

収益的収入及び支出

1 収入

科 目	A 予算現額 (円)	B 決算額 (円)	差引額 (円) B - A	執行率 B / A (%)
下水道使用料	6,492,399,000	6,359,792,517	△ 132,606,483	98.0
他会計負担金	1,979,211,000	1,948,863,689	△ 30,347,311	98.5
その他営業収益	2,925,000	2,975,950	50,950	101.7
他会計補助金	130,766,000	115,059,900	△ 15,706,100	88.0
国庫補助金	36,000,000	36,000,000	0	100.0
長期前受金戻入	2,779,882,000	2,802,236,144	22,354,144	100.8
雑収益	1,023,000	1,662,875	639,875	162.5
固定資産売却益	0	14,194	14,194	—
過年度損益修正益	1,000	26,097	25,097	2609.7
計	11,422,207,000	11,266,631,366	△ 155,575,634	98.6

(消費税及び地方消費税込みで表示)

2 支出

科 目	A 予算現額 (円)	B 決算額 (円)	差引額 (円) A - B	執行率 B / A (%)
管渠費	673,806,000	647,757,116	26,048,884	96.1
ポンプ場費	842,906,000	786,951,548	55,954,452	93.4
普及促進費	124,476,000	97,342,253	27,133,747	78.2
業務費	353,449,000	352,392,330	1,056,670	99.7
総係費	227,550,000	184,781,469	42,768,531	81.2
流域下水道維持管理費負担金	2,271,457,000	1,935,326,410	336,130,590	85.2
減価償却費	4,942,399,000	4,946,624,822	△ 4,225,822	100.1
資産減耗費	9,144,000	20,274,218	△ 11,130,218	221.7
支払利息	601,185,000	568,936,682	32,248,318	94.6
消費税及び地方消費税	53,578,000	15,381,600	38,196,400	28.7
雑支出	167,000	193,702	△ 26,702	116.0
固定資産売却損	138,000	45,501	92,499	33.0
過年度損益修正損	4,563,000	4,857,567	△ 294,567	106.5
予備費	30,000,000	0	30,000,000	0.0
計	10,134,818,000	9,560,865,218	573,952,782	94.3

(消費税及び地方消費税込みで表示)

資本的収入及び支出

1 収入

科 目	A 予算現額 (円)	B 決算額 (円)	差引額 (円) B - A	執行率 B / A (%)
企業債	3,687,200,000	2,800,000,000	△ 887,200,000	75.9
他会計出資金	656,214,000	178,000,000	△ 478,214,000	27.1
他会計補助金	132,174,000	132,173,639	△ 361	100.0
国庫補助金	881,058,000	343,181,000	△ 537,877,000	39.0
固定資産売却代金	39,000	98,476	59,476	252.5
受託工事収入	53,405,000	32,335,419	△ 21,069,581	60.5
計	5,410,090,000	3,485,788,534	△ 1,924,301,466	64.4

(消費税及び地方消費税込みで表示)

2 支出

科 目	A 予算現額 (円)	B 決算額 (円)	差引額 (円) A - B	執行率 B / A (%)
建設改良費	5,390,526,000	3,884,574,586	1,505,951,414	72.1
企業債償還金	3,612,226,000	3,612,225,013	987	100.0
計	9,002,752,000	7,496,799,599	1,505,952,401	83.3

(消費税及び地方消費税込みで表示)

排水の状況

区 分	A 令和6年度	B 令和5年度	C 差 引 (A - B)	増 減 率 C / B (%)
水洗化人口 (人)	511,358	508,752	2,606	0.5
水洗化世帯数 (世帯)	262,683	258,197	4,486	1.7
総排水量 (m ³)	52,522,658	54,571,686	△ 2,049,028	△ 3.8
1日平均排水量 (m ³)	143,898	149,103	△ 5,205	△ 3.5

地方債現在高

令和7年3月31日現在

1 地方債

借入先	下水道事業会計
財政融資資金	千円 41,783,542
簡易生命保険資金	994,932
地方公共団体金融機構	8,542,327
市中銀行	421,725
合計	51,742,526

※市中銀行…埼玉りそな銀行、きらぼし銀行、川口信用金庫、青木信用金庫

令和 7 年度下水道事業 予算概要

1 事業の概況

本市下水道事業は、「川口市下水道ビジョン」において、「安全で快適な暮らしを未来へつなぐ 川口の下水道」を理念として掲げています。

この理念を実現するため、令和 7 年度当初予算において、下水道未普及地域の解消、老朽化した管路等の更新、浸水対策の推進のために必要な経費を計上し、今後も良好な下水道サービスを持続的に提供できるよう努めていきます。

2 経理の状況（消費税及び地方消費税込み）

（1）収益的収支の状況

収益的収入の合計額は 11,408,782 千円で、前年度に比べ 13,425 千円（0.1%）の減を見込んでいます。減額の主な理由は、長期前受金戻入が減少したことによるものです。

収益的支出の合計額は 10,417,687 千円で、前年度に比べ 282,485 千円（2.8%）の増となっています。増額の主な理由は、総係費が増加したことによるものです。

（2）資本的収支の状況

資本的収入の合計額は 5,388,741 千円で、内訳は、企業債 3,679,000 千円、他会計出資金 578,000 千円、他会計補助金 131,304 千円、国庫補助金 971,421 千円、固定資産売却代金 28 千円、受託工事収入 28,988 千円となっています。

資本的支出の合計額は 9,011,313 千円で、内訳は、建設改良費 5,332,257 千円、企業債償還金 3,679,056 千円となっています。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額 3,622,572 千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 367,525 千円、減債積立金 1,180,000 千円、過年度分損益勘定留保資金 1,407,508 千円、当年度分損益勘定留保資金 667,539 千円で補てんします。

3 汚水処理状況

令和 7 年度の総排水量は 61,478,000 m³、有収水量は 50,821,655 m³、予定有収率は 82.67%を見込んでいます。